

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和元年10月9日(水)午後4時40分
閉会日	令和元年10月9日(水)午後5時03分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 木村さゆり 副委員長 山田かずひこ 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 伊藤祐司 大島令子 岡崎つよし 川合保生 ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ なかじま和代 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長兼行政課長 飯島 淳 財政課長 嗟峨 剛 課長補佐 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計 5名</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 加藤和男 議会事務局長 水野敬久 議事係長 吉田菜穂子
会議録	別紙のとおり



## 別紙

委員長 開会宣言  
議長 あいさつ  
市長 あいさつ  
委員長 本委員会では、一般会計に係る議案のみ説明を受ける。  
まず、認定第1号平成30年度長久手市一般会計決算認定について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 平成30年度の一般会計と6つの特別会計を含めた決算額は、歳入総額が276億420万円余、歳出総額が265億6,029万5千円余で、歳入歳出差引額は10億4,390万5千円余であった。また、翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支は、9億1,205万6千円余の黒字であった。

一般会計の歳入決算額は、191億691万4千円余で、平成29年度に比べ、5億2,927万円余、2.8%の増加となった。歳入の6割近くを占める市税は、全体で114億3,705万5千円余となり、対前年度比6億3,574万5千円余、5.9%の増加となった。これは、主に民間宅地開発や土地区画整理事業が進んでいる地域において、納税義務者数が増加したことによるもので、個人市民税が47億5,682万円余で、対前年度比4,770万8千円余、1.0%の増加となった。また、固定資産税は、約49億3,948万8千円余となり、平成28年度に開業した大型商業施設の家屋分の課税が平成30年度から開始され、平成29年度、30年度の2年分の課税収入となったこと等により、対前年度比約4億4,689万9千円余、9.9%の増加となりなった。その他、法人市民税、都市計画税についても増加となった。

一般会計歳出決算額は、約184億5,553万6千円余で、対前年度比約3億7,976万円余、2.1%の増加となった。決算額が増加した主な要因としては、児童クラブ・放課後子ども教室整備工事や、(仮)北児童館の整備に向けた旧長湫北保育園解体工事、北小学校校舎増築工事等を実施したこと等による。

主な財政指標のうち、財政力指数については、平成30年度の単年度では、1.08で、昨年度に続き、普通交付税の不交

付団体となった。そのほか、実質公債費比率はマイナス1.8%など、主要な財政指標については、健全な財政状況を維持することができたが、経常収支比率は87.1%と、平成29年度の86.9%と比べ、若干ではあるが、財政の硬直化が進行した。

平成30年度は、消防事務の一部事務組合化に伴い人件費が減少し、文化の家整備に係る償還が平成29年度で完了したため、公債費が減少したものの、依然として児童福祉費を始めとした扶助費の支出は増加している。このような支出に対応するため、国県支出金の確保に努めたことに加え、投資的経費に対しては、将来負担が過度にならないよう必要最低限な範囲での起債発行や計画的な基金の取崩しにより、必要な事業を実施することができた。

今後は、歳入においては、人口増加に伴う市税の増収が見込まれ、歳出においては、公園西駅周辺土地区画整理事業が事業完了に向かうことによる、普通建設事業費の減少が見込まれる。しかし、既存の公共施設等の改修や更新にかかる需要が今後さらに高まっていくことが予想される。また、扶助費などの経常的な義務的経費は増加することが見込まれるため、上郷保育園等複合施設整備事業などの大規模事業を順次迎えるため、事業の取捨選択や経費節減に引き続き取組み、より効率的な財政運営に努めていく。

委員長 次に、議案第38号令和元年度長久手市一般会計補正予算(第3号)について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 既定の歳入歳出予算総額から、歳入歳出それぞれ3億4,095円を追加し、歳入歳出の総額を、歳入歳出それぞれ208億3,029万6千円とする。

今回の補正額は、歳入歳出とも、3億4,095万円の増額である。

歳入では、繰越金、繰入金、諸収入等の増額、歳出では、総務費、衛生費、民生費等の増額である。また、(仮称)南小校区共生ステーション整備事業及び北浦・杣ノ洞地区排水路整備事業の1億5,699万3千円を令和2年度に繰り越すため、繰越明許を設定する。なお、給食管理栄養計算システム賃借料にて債務負担行為を追加する。

はじめに歳入予算について説明する。17 款寄附金である。総務寄附金の 50 万円、民生寄附金の 100 万円は、いずれも市内の中尾産業(株)様からの寄附金である。また、教育寄附金の 20 万円は、十六銀行様からの寄附金である。

次の 18 款繰入金、基金繰入金 3,063 万 8 千円は、卯塚墓園事業特別会計の余剰金を、一般会計で管理する公共施設等整備基金に積み立てていたものを、新たに設置した卯塚墓園事業基金に移すため一旦一般会計に繰り入れるものである。

次に、歳出予算について説明する。2 款 1 項 2 目財産管理費の財政調整基金積立金 2 億 7 千万円は、平成 30 年度の実質収支の 5 億 2,825 万 7,727 円の約半分を財政調整基金に積み立てるものである。2 款 1 項 14 目防災費の災害用資機材 50 万円は、中尾産業(株)様からの寄附金を活用し、ラップ式トイレを購入するもので、この中尾産業(株)様からの寄附金に係る補正予算は、3 款 1 項 1 目社会福祉総務費の更正保護事業の消耗品費 10 万 5 千円、3 款 2 項 1 目児童福祉総務費の放課後児童クラブ運営事業の児童クラブ用備品の 33 万円、3 款 4 項災害救助費の災害用資機材の 31 万 2 千円、4 款 1 項 2 目予防費の成人保健事業のがん教育用備品 15 万 7 千円、母子保健事業の母子保健事務事業備品 6 万 9 千円、保健センター管理事業の消耗品費 2 万 7 千円をそれぞれ計上しており、総額 150 万円となっている。また、同じく寄附金に係る補正予算として、9 款 2 項小学校費の 1 目の最上段、長久手小学校運営事業の消耗品費 7 万 6 千円と、学校管理用備品 12 万 4 千円の合計 20 万円は、十六銀行様からの寄附金を活用するための予算計上となっている。2 款 1 項 4 目人事秘書管理費の職員人件費の尾三消防派遣職員負担金の 810 万円の減額は、尾三消防組合から本市への派遣職員の要望を、予算編成時には 2 名を希望していたが、実際には 1 名の派遣となったため、1 名分を減額するものである。そのすぐ下の段の 6 目情報化施策費の総合収納システムデータレイアウト変更対応委託 223 万 3 千円は、令和 2 年 4 月の総合収納システムの稼働に合わせ、住民情報システムとの連携レイアウトを変更すること、元号情報の追加を行う必要があることから、システム変更を行うものである。

委員長 本委員会に付託された議案 19 件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 閉会宣言

午後 5 時 03 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和元年 10 月 9 日

予算決算委員会委員長 木村さゆり